

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公開番号】特開2010-171243(P2010-171243A)

【公開日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2009-12955(P2009-12955)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/82 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 L 21/82 B

H 0 1 L 21/82 D

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月29日(2011.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 8 】

ゲートパッド部 2 1 B は、ゲートパッド部 2 1 A を 1 8 0 度回転移動した図形のパターンとなる。

よって、図 1 (B) と図 1 (C) に示すように、ゲートパッド部 2 1 B においては、メタル配線交差部 2 1 1 の長辺途中から P 型拡散層 1 1 P と交差するように延びるゲートフィンガー部 2 2 B を、ゲート電極 2 0 B が有する。基幹部 2 1 2 の端辺から N 型拡散層 1 1 N と交差するように延びるゲートフィンガー部 2 3 B を、ゲート電極 2 0 B が有する。

ゲートフィンガー部 2 2 B , 2 3 B は、それらの幅がトランジスタの、いわゆるゲート長を規定する。ゲートフィンガー部 2 2 B が P 型拡散層 1 1 P と交差する部分の長さが P M O S トランジスタの、いわゆるゲート幅を規定する。ゲートフィンガー部 2 3 B が N 型拡散層 1 1 N と交差する部分の長さが N M O S トランジスタの、いわゆるゲート幅を規定する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 5 】

P 型拡散層 1 1 P と交差するゲート電極 2 0 A のゲートフィンガー部 2 2 A をゲートとする、P M O S トランジスタが形成されている。P M O S トランジスタのソース領域が、1stコンタクト 4 1 (1 C) に接続された P 型拡散層部分に形成されている。一方、ゲートフィンガー部 2 2 A を挟んで、1stコンタクト 4 1 (1 C) に接続された P 型拡散層部分と反対側の P 型拡散層部分が、P M O S トランジスタのドレイン領域となる。

P M O S トランジスタのドレイン領域に 2 つの 1stコンタクト 4 3 (1 C) , 4 4 (1 C) が形成されている。